

6 | 173

(端書)

「元治元子九月写」

從三位宰相松平大膳大夫勝信

御分家

長州府中城主

五万石 毛利左京亮

防州徳山城主

四万石 毛利淡路守

長州清須城主

壹万石 毛利隱岐守

御家門

防州岩国城主

拾七万石 吉川監物

御家来

五万石 宍戸安藝

三万八千石 熊谷将監

二万三千石 天野主計

二万五千石 清水長右衛門

二万石 香川左衛門

二万石 桂左衛門太夫

一万八千石 福原左近

一万三千石 児玉三郎

一万七千石 栗屋右京

壹万石 阿曾沼豊後

同 山田左衛門

同 杵原播磨

同 三村紀伊

同 国司左京

同 小早川左衛門

八千九百石 二宮土佐

八千石 宍戸雅樂

八千三百石 平賀太郎左衛門

七千石 井上河内

六千石	口羽十郎 <sup>(カ)</sup>
六千三百石	飯田越中
大組	
五千八百石	穗田伊豫
五千七百石	坪井因幡
五千石	杵森下野
五千七百石	南條伯耆
五千二百石	三澤三郎
五千百石	益田越中
四千八百石	清水清太郎
四千七百石	坂新吾
四千六百石	秋山隼人
四千八百石	赤川十郎
四千二百石	南方左馬
四千百石	小鴨宮左京
四千石	佐波越後
四千八十石	三刀谷左衛門
四千百石	羽根弾正
四千六百石	栗屋十太夫
四千九百石	三村修理
四千八百石	福原下野
四千七百石	山内新左衛門
四千三百石	熊谷兵庫
四千二百石	二百熊登
四千百石	児玉左馬之助
四千八十石	深瀬弾正
四千石	梨羽中務
三千九百石	穴戸五郎
三千八百石	高野山吉平
三千石	木利次郎
三千七百石	有地美作
三千五百石	牛尾大蔵
同	村上八郎左衛門
三千六百石	浦兵庫
三千五百石	野嶋大和

三千四百石	遠藤左京進
三千八百石	生口孫三郎
三千七百石	赤穴左京
三千七百八十石	山田刑部
三千六百石	原川太郎左衛門
三千五百石	湯佐渡
三千四百石	天野十郎太夫
三千三百石	有地民部
同	小馬越中
三千五百石	檜崎和泉
中組	
三千二百石	小森和泉
三千石	湯原弾正
二千八百石	福瀬治部
二千三百石	吉田肥前
三千石	周布左近
二千七百石	久利三河
二千六百石	羽根兵庫
同	祖式民部
二千五百石	南三河
二千四百石	包久庄五郎
二千二百石	虫明弥左衛門
千八百石	福間彦右衛門
千七百石	磯兼左近
千七百十石	射満新左衛門
千六百石	末長常陸
千五百石	白井縫殿
千四百石	小笠川少輔
千三百石	三吉十郎太夫
千二百石	久代修理
千二百石	三保左衛門
千二百石	上原左京
同	一條九郎
千百石	青木主計
同	内藤弥四郎
	佐武善九郎

	千二百石	田所甚右衛門
	千七百石	田治部藏人
	千六百石	北幡六郎助
	千四百石	中村三郎
	千八百石	波多野源助
	千二百石	山縣筑後
	千七百石	門日宮内
	千五百石	渡部新左衛門
	千四百石	内藤六郎
	千三百石	綿貫新左衛門
	千六百石	福原源助
	千二百石	飛落小次郎
	千百石	庄原奎之介
	千三百石	羽仁藤兵衛
	千二百石	田賀喜三郎
	千百石	日野左近
同		古志清助
千八十石	栗谷太郎兵衛	
御馬廻り		
一千石より五百拾石迄	三千二百人	
一	五百石より貳百石迄	
	二万二千八百貳拾人	
一	一百五拾石より八拾石迄	
	二万三千百七拾壹人	
一	七拾石より三拾石八人扶持迄	
	二万百拾八人	
一	浪人	三千八百貳拾人
一	郡士	三百人
一	足輕	四万七千人
一	坊主士	三千二百人
一	神主	三千六百八拾壹人
一	力士組	七百人